



# 東日暮里幼稚園だより

荒川区立東日暮里幼稚園  
／荒川区立第三日暮里小学校併設園

発行日 令和6年1月9日  
発行者 園長 村山 貞則

## 1月号

### 「ホップ・ステップ」、そして「ジャンプ」の3学期

園長 村山 貞則

冬休みは静かだった園内も、久しぶりに登園してきた子どもたちの楽しげな声でいっぱいです。新しい一年が、子どもたちにとって、また保護者の皆様にとって笑顔あふれる1年となり、子どもたちが健やかに成長できるようにがんばってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

そして、各クラスの教室には、鏡もちが飾られています。12月に皆で餅つきをできたお餅を鏡もちにしたものです。餅つきは、一人ではできないため、連帯感を高め、喜びを分かち合うという意義もあると言われています。園で行われた餅つきは、まさにそうだったと感ずます。皆で作りあげる楽しさ、嬉しさ。皆、自然と笑顔になったり、声を出して応援したりしていました。とても素敵な雰囲気のある有意義な時間でした。保護者やご家族の皆様におかれましては、準備や実施、参加にご協力いただきましてありがとうございました。皆の心が一つになって出来上がった心温まる鏡もちに見守られながら3学期がスタートします。



さて、3学期は、3つの学期の中で最も短い期間で、よく「まとめ」の学期とも言われます。今の学年をしっかり締めくくり、次のステージ、次の学年へつなぐとても意義のある学期です。思い起こすと、1学期から2学期ととても成長を感じます。いろいろなことに進んで参加できるようになったり、話の聞き方が上手になったり、興味を広げてさらに良いものを作ろうとしたり、友達と話をしながらものごとをすすめたり、できるようになってきたことがたくさんあります。子どもたちは、1学期から2学期へと「ホップ・ステップ」してきました、3学期はそれをうけて、あらゆる力を上昇させいい方向へ導く力があるとされている今年の干支である辰のように、「ジャンプ」できるように支援してまいります。